

平成29年度 第2回新庄市子ども・子育て会議議事録

1 日時

平成29年7月21日（金）午後3時00分～午後4時20分

2 場所

市役所3階 議員協議会室

3 当日の参加者等

(1) 出席委員（14名）

本澤委員、佐藤委員、早坂委員、金澤委員、柴田委員、阿部委員、井上委員、
星川委員、川又委員、齊藤委員、涌井委員、小野委員、高橋委員、梁瀬委員

(2) 欠席委員（1名）

沼澤委員

(3) 事務局（6名）

【学校教育課】齊藤課長（欠席）

【健康課】田宮課長

【子育て推進課】滝口課長、荒田室長、西田室長、佐藤子育て企画主査、
三原保育推進主査

4 会議次第

(1) 会長あいさつ

(2) 協議

- ・事業計画の中間評価案の検討について

(3) その他

議 事 録

事務局（滝口課長）

みなさま 今日には本当にお暑いところ、ご出席いただきましてありがとうございます。急遽、会場を変更いたしました。元々予定しておりました会議室のクーラーが壊れて、暑くて会議にはならないだろうということで、変更させていただきました。梅雨明け前ですけれども真夏のような天気が続いております、本当に暑いところ会議に出席いただきましてありがとうございます。

それでは、ただ今から平成29年度第2回新庄市子ども・子育て会議を開催させていただきます。

1番の会長あいさつの前に、前回、第1回の会議に出席できなかった委員の方に、自己紹介ということでお願いしたいと思います。お手元の次第の裏面に名簿を載せていただいておりますけれども、升形小学校の早坂校長先生とまだ見えていませんけれども沼澤委員は見えましたらということで、あとは事務局の当課の三原ということで自己紹介をお願いできればと思います。早坂先生お願いします。

(各委員自己紹介)

(事務局職員自己紹介)

事務局（滝口課長）

ありがとうございました。

それでは、次第の1番、会長あいさつということで本澤会長の方からごあいさつの方をお願いします。

本澤会長

皆さん、お暑い中、お集まりいただきましてありがとうございます。前は、新庄の夏は短いからクーラーはいらないというようなことでしたが、このところは、亜熱帯地域に変わってきたのではないかとということで、クーラーをつけすぎみたいになっています。

今日をご案内のとおり、新庄市子ども・子育て支援事業計画の中間の評価案ということで検討いただきますので、忌憚のないご意見をいただければと思います。それではよろしくお願いたします。

事務局（滝口課長）

どうもありがとうございました。

それでは続いて、次第の2協議に移ります。協議の方の議長ですけれども 子ども・子育て会議条例の規定によりまして会長さんの方で議長というような規定がありますので協議については、本澤会長の方から進行の方おねがいをしたいと思います。よろしくお願いたします。

議長（本澤会長）

はい。それでは議長を務めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。
協議の（1）事業計画の中間評価案の検討について事務局の方からご説明お願ひいたしま

事務局（荒田室長）

（（1）について説明）

議長（本澤会長）

はい。どうもありがとうございました。ただいま事務局より説明があった訳ですが、また皆様より頂いた意見についての事務局案もご提示していただきましたが、〇〇委員、事務局案でよろしいですか。

〇〇委員

はい。

議長（本澤会長）

はい。それでは、〇〇委員、事務局案でよろしいですか。

〇〇委員

はい。

議長（本澤会長）

はい。〇〇委員、事務局案でよろしいですか。

〇〇委員

はい。

議長（本澤会長）

はい。どうもありがとうございました。それでは、このような中間評価結果のなるということですね。どなたかご質問ありますか。

はい。〇〇委員お願ひいたします。

〇〇委員

（4）乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）について質問
訪問しての内容はどのようなものか。お母さんの不安などはどんなものなのか。
数字だけではなく、内容を聞きたい。

事務局（田宮課長）

保健師が訪問している事業である。昔は、祖父母など同居し、相談相手があったが、近年はひとり親、核家族も多く育児についての悩みはあってもなかなか聞けないということは聞いている。その不安解消のための助けになっている。また、初めてのお子さんの育児のやり方等とかあるようです。

〇〇委員

出産から子育てにつながる最初の援助だと思う。良い事業なので続けていただきたい。

議長（本澤会長）

はい。どうもありがとうございました。ほかにどなたかご質問ありますか。

はい。〇〇委員お願いいたします。

〇〇委員

- (5) 養育支援訪問事業について質問
市内での虐待や不適切な養育環境あるか。

事務局（滝口課長）

要保護児童対策地域協議会でも事案があり、問題を抱える保護者が出てきている。
平成29年度2人一時保護としている。

議長（本澤会長）

はい。どうもありがとうございました。ほかにご質問ありますか。

はい。〇〇委員お願いいたします。

〇〇委員

- (10) 病児保育事業についての現状を報告
平成29年度の4月から利用数は現在28人で、利用件数が少ない現状である。
子ども6名に保育士2名、看護師1名で人件費がたいへんである。
利用数が少なければ、別の事業を考えてはいかがか。

事務局（西田室長）

実際に、資料の実施状況にあるような事業費を補助金として交付しているが、保育士2名、看護師1名を常に抱えていることは、たいへんなことだとは承知している。保護者の方にとっては、こうして預けられる場所があるという安心感も得られており、市としては存続をお願いしたい。

〇〇委員

(10) 病児保育事業について、〇〇委員に質問
補助額について

〇〇委員

基本分と利用人数に応じた補助金となっている。

〇〇委員

(10) 病児保育事業について助言

利用数が減になった原因は、認可外から小規模になったということもある。
病児保育のみでなく、最上郡内の広域的取り組みを進めてほしい。他町村はど
ういう状況か。

事務局（西田室長）

昨年度、他町村の意向を聞いた際は、全町村、一緒に行いたい意向ではあったが、実際は、
預ける児童がいなかったら負担金はどうするのか。誰もいないのに支払うのか。定員で入れ
なかったらどうするのかなど自治体側の都合によりまとまらなかった。しかし、今年度にな
って舟形町が合同でやっていきたいという意思があり（町長の公約）、9月議会での提案、
補正予算（案）の議決を経て、協定書を締結することとしている。

議長（本澤会長）

はい。どうもありがとうございました。ほかにご質問ありますか。

このような中間評価結果のなるということですね。承認を取った方が良いですか。

事務局（滝口課長）

はい。

議長（本澤会長）

このような中間評価結果のなるということですのでよろしいですか。

(全員了承)

事務局（滝口課長）

それでは本澤会長どうもありがとうございました。

続いて次第3番目の方に移らせていただきたいと思います。

(委員改選に向けたお願い)

(委員報酬について)

皆様の方から何かございませんか。

ないようですので、今日の第2回目の新庄市子ども・子育て会議の方はこれで閉じさせていただきます。どうもありがとうございました。